

記者資料提供（2024年10月11日）
都市局用地活用推進課 石中・中井
TEL：078-595-6751 FAX：078-595-6808

講演会 阪神大震災でびくともしなかった強運の倚松庵（いしょうあん） もうすぐ阪神淡路大震災 30年！



開催日

2024年11月30日 14時00分～15時30分

開催場所

倚松庵（いしょうあん）

開催内容

▼講演会のテーマ

「震災にびくともしなかった強運の倚松庵～もうすぐ阪神大震災 30年！～」

▼講演者

たつみ都志（武庫川女子大学名誉教授）

▼倚松庵について

「源氏物語」の現代語訳を終え、「細雪」を書き始めた谷崎潤一郎は、倚松庵を舞台に物語を繰り広げようとしていました。

しかし家主の都合で追い出されたのです。家主から倚松庵を買って住み始めた児山家は、文豪谷崎が住んでいたことを重要とし、不便を顧みず何一つ変えずに住んでいました。

それから半世紀、六甲アイランド線の敷設にともない、倚松庵は北に200メートル移築されました。1990年のことです。

その5年後、あの阪神大震災がおこり、周囲の古民家が手痛い被害を受ける中、倚松庵はガラス一枚割れず、瓦一枚落ちなかったのです。

参加者募集の有無

募集あり（人数制限あり）

人数・組数：50人

申込方法

- ▼往復はがき 倚松庵宛に郵送、締切は11/16（土曜）当日消印有効
- ▼メール申込 isyouann@gmail.com 締切は11/16（土曜）

※どちらも住所・氏名・連絡先・参加人数（2人1組まで）を記入

料金

無料

倚松庵について

倚松庵は、文豪・谷崎潤一郎が1936年から1943年まで居住し、松子夫人やその妹たちをモデルとした小説「細雪」の舞台にもなりました。「細雪」の面影が残る庵内には著書や参考文献等を集めた「谷崎文庫」を併設しており、文学の庵（いおり）として、市民や観光客に谷崎文学の世界に親しんでいただくことを目的に開館しています。

開館日 土曜・日曜・祝日（年末年始12/29～1/3 除く）

開館時間 午前10時～午後4時

入館料 無料